



商工がほく



令和5年2月 第90号

2

目次

- P2 新春特別講演会
かにカニ合戦
- P3 部会報告／かほく創業塾2022
建設部会:視察研修
機電部会:経営研修
繊維部会:ジャパンクリエーション2023
商業部会:視察研修
- P4 商工会全国大会表彰／雑炊・鍋まつり
にゃんたろうカード加盟店募集
- P5 確定申告相談会／確定申告会場開設日
テレホンガイド2022年発行／お詫び
10月号読者プレゼント当選者発表
- P6 プレミアム付商品券発売
- P7 いしかわ事業継承マッチング支援
- P8 事業所紹介
読者プレゼント応募券／編集後記



新年のごあいさつ

かほく市商工会

会長 南 春夫

新年あけましておめでとうございます。
皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は商工会の事業に格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、わが国経済は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いたことに加えて、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー・食料危機や各種素材不足、物流の停滞などにより、幅広い業種の企業の業績悪化を招きました。

本県地域においても同様に、飲食・観光関連産業をはじめ幅広い業種に甚大な影響を与えております。中でも中小企業・小規模事業者は極めて困難な対応を迫られています。

他方、脱炭素・循環型社会への移行などの大きな潮流に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を契機としたライフサイクルや社会行動の変化、規制緩和によって多くの新事業の芽生えが期待されており、それゆえ各事業所では、これらの変化への早急な対応が求められています。

このような中、商工会では地域の中小企業・小規模事業者が自らの経営課題や事業環境変化に対応するため、国の「小規模事業者持続化補助金」をはじめとする補助事業や、県の「経営力強化総合支援アドバイザー派遣事業」などの専門家派遣事業を活用し、会員事業所がさらに「元気になる」よう持続的な発展を支えていきたいと存じます。

また、かほく市との連携を図りながら、商工会員、市民の皆様への応援を力にかほく市の活性化の一助になるよう活動が続けてまいりたいと考えております。皆様により一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年「卯年」の「卯」はうさぎの様子から安全、温和の意味があります。2023年は、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年になると考えられます。

本年が皆様にとりまして、明るいよい年になりますとともに会員企業の発展をご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

「アフターコロナ時代に向けて」 ～ニュースの裏側から見る日本経済の行方～



講師 読売テレビ報道局長 高岡達之氏

去る一月十二日(木)、かほく市高松産業文化センター一階大ホールを会場として、読売テレビ報道局解説委員長 高岡達之氏をお招きし『アフターコロナ時代に向けて～ニュースの裏側から見る日本経済の行方～』と題して新春特別講演会を開催した。その主な内容について掲載します。

まず冒頭に、本日は「うがった見方で」ニュースを一緒に見て頂きたいと話され、国際情勢やアフターコロナに向けての着眼点について事例を取り上げ解説された。「うがった」とは、「穴を掘る」ということであり、そこから転じて「物事を深く掘り下げ、本質を的確に捉える」「隠れた真相を見抜く」という意味で用いられている。

「ロシアのウクライナ侵攻について」

今年の八月～九月が一つの目途であり、ターニングポイントは五月の広島サミットである。これを越してしまっただけは八月～九月にかけ、ウクライナに対して少し我慢して引けという空気が強まると思われる。逆に五月の段階でウクライナが圧倒的に有利な状態であればロシアに対して矛を収めるという空気が強まってくる。その理由はヨーロッパのガスの備蓄量である。ヨーロッパは記録的な暖冬によりガスを想定より使っていない。価格は高騰しているがガスタンクは満タンである。今年の冬は乗り越えられるが、本当のガス不足に陥るのは今年十一月から来年にかけてである。ノルウェーからのパイプラインを作るつもりであるが、今年の冬には間に合わない。したがって、ヨーロッパが今年の冬にガス不足が見えてくる夏頃には、ロシアとウクライナのどちらかに諦めてもらわなければならないという空気がある。手打ちをさせる五月前には、両国とも優勢でいたいと考えている。

このニュースをうがった見方をすると、ヨーロッパにおいてガス代の高値状態が続く、日本の火力発電の材料がヨーロッパに買い負けしている状態が続いているため、政府は何かしらの手を打つ必要があると考えている。したがって、年末に原子力政策の方針を転換した。ちなみに関西電力は原子力発電を二番再稼働している電力会社であり、現在値上げを申請していない。

「台湾有事について」

今年注力してほしい国はインド。インドが出てくるニュースは見ておいた方がよい。中国はインドが自障りであり、今後インドとの対立が顕著になる。台湾有事でキーポイントなる存在がインドである。中国はこれからは尖閣諸島周辺に侵入してくる。台湾を攻めるには東側からでないとい陸上作戦はできない。そのために中国は尖閣諸島が必要だと考えている。

インドと中国は国境線を挟んで対立している。インドはチベットとの国境線に、沖縄から在日米軍を招き軍人訓練を実施した。中国はチベット国境付近が気になって仕方がない。インドは今年人口が世界一となる大国である。インドが台湾や日本に接近している間は、中国は

気が気ではない。インドは台湾政府と事実上の国交を結んでいる。このニュースをうがった見方をすると、インドが台湾と親密にしている間は、台湾有事はおきない。

「アフターコロナ時代に向けての着眼点」

「コロナ後に何をしておけば良いか」というと、一点目として「民意」として消費を見ていただきたい。人が何を買っているかということ。コロナ禍でも生き延びている会社の経営者は見ている。一例として「デジタル化」と言われているが誰が推進しているのでしょうか。以外だと思われるかもしれないが、デジタルを推進しているのは年配の方。若者は、デジタルが嫌になってきている。東京銀座の文具店では、手帳の手帳、レターセットが売れていて、購入しているのは、外国人と若者である。年配の方は、時代に遅れまいとスマホを懸命に使うようにしている。若者はスマホなどデジタルが嫌いになっている側面もある。理由は、個人情報問題。また、デジタルでの即座に求められる対応に疲れはてている。スマホを持ち使っているが、実際に売れているのが手帳。企業でもメールを禁止するなどデジタルと一線を画す企業も存在している。コロナによって人のつながりを断たれたために、若者も字を書くことに目覚めている。

また、若者に注目されているのが「昭和」。外国人も昭和を気に入っている。浅草での鮎づり、京都でのお茶摘みなど昭和体験を求めている。「コロナの時代を経て今終わる」として、デジタルの良いところも取り入れながら、人間らしさを求めている方がたくさんいる。

二点目として今までは違う販路を見ていただきたい。一例として「コロナで一番人が必要になったのは医療分野である。岡山県にあるシバセ工業(株)は、ストローのシェア日本一の会社。プラスチックストローを作っていたが、SDGsの機運の高まりにより飲料用のプラスチックストローが敬遠され大打撃を受けていた。しかしながら、コロナの時に一番ストローが必要となる分野は医療関係であると気づいた。PCR唾液検査時にストローを使用するためである。ストローを作ってきた技術があったからこそ上手く唾液を抽出できる医療用ストローを製作することができた。最初に問い合わせがあり、現在でも大口の取引先は京都大学病院、京都大学病院が使っているから信用力がある。シバセ工業(株)は今、医療用ストローで息を吹き返している。

今後もしばらくは国際情勢も厳しく、電気代も下がらないでしょう。しかし、自分の力で動かせること、動かさないことがある。経営者の方には、何が売れているのか見に行ってください。でたら東京に行きましょう。そういう思いを持って町を歩いてみてください。そこで売れているものを見てみると、本当の「民意」というのは、統計よりもっと、はっきりしていることがお分かりになると思います。

テレビ、新聞からの情報も大事であるが、「この商品がいくらだと購入するだろう。こういったサービスであったらもう一回利用するだろう。という自分の感覚を大切にしてください。こういったうがった見方をしている企業は「コロナ禍でも生き残ってきたし、コロナが終わったらもっと伸びていく。」

「コロナで人との付き合いがなくなったから、人の話が聞きたい」と思っている。石川にも、かほく市にも絶対に物語がある。人が何をここに求めているのかを考えていただきたい。講師はニューヨークを交えながらの一時三十分を超す講演を終え、聴講者の拍手の中降壇した。

かほく四季まつり

かに：カニ合戦

3年ぶりに開催！ 大盛況！

かほく四季まつり「かにカニ合戦 海の幸・山の幸まつり」は、令和4年11月20日(日)、かほく市七塚生涯学習センター駐車場で3年ぶりに開かれ、約5千人が県産ズワイガニ「加能ガニ」やかほく市特産のサツマイモ「かほっくり」、「砂丘長いも」、「高松紋平柿」などを買い求めた。

カニの即売テントには加能ガニとコウバコガニ計約1,700匹が市況より1～2割安い価格で提供された。開場の午前9時には約100メートルの列ができ、まつりの終わる正午まで客足が途絶えなかった。加能ガニとコウバコガニは事前予約(抽選)も行っており、加能ガニ2杯とコウバコガニ3杯が1セットで、大・中セットそれぞれ限定100セットが用意され、当選した方々が引換券と交換で購入、会場で購入された方を含めて、早速、日頃お世話になっている方や親戚の方に「かに」を送る方も多く、会場に設けられた宅急便受付は終日混雑していました。

会場で行われた「重さ当てクイズ」は、たくさんの応募を頂き、数字が近かった方々15名に「カニセット」、「かほっくり」、「砂丘長いも」、「高松紋平柿」、今回出店いただいた友好都市の駒ヶ根市の「りんご」が賞品として贈呈された。



各部会報告

機電化部会 経営研修/河北亭

商工会機電化部会は11月18日(金)河北亭にて経営研修を実施しました。

今年度は研修会を多めに実施しており、今回は株式会社アントラム代表取締役 工藤正克氏をお招きし、「見方を変えて価値を変容ものづくり技術の新たな出口を探る」というテーマで研修会を行いました。

講師工藤氏の広告代理店での勤務体験を基にした内容であり、研修後の懇親会でも外部環境の課題にどう対処するかを参加者で話し合いました。



河北亭にて

建設部会 視察研修/富山県

11月15日(火)～16日(水)にかけ、参加者9名で、富山県へ視察研修を実施しました。

工場見学した(株)能作は、大正5年創業の鋳物メーカーであり創業当時は、仏具、茶道具、花器を製造していましたが、近年では錫製のテーブルウェアや真鍮製のインテリア用品のほか、照明器具や医療機器も製造開発しています。世界で初めて錫100%製のテーブルウェアを開発、曲がる「KAGO」シリーズは、能作の代表作です。

当日は鋳物の歴史や受け継がれてきた職人の技、能作のものづくりについて説明を受けました。この施設では、工場見学の他、砂を押し固めて鋳型を造型する方法で、ぐい呑等の錫製品をご自身で製作する体験コーナーもあります。その他、富山県美術館、本年10月に国宝指定を受けた勝興寺なども見学した。

今回の視察研修では、近代的な建築物と歴史ある建造物の両方を見学し、参加された部会員の方は有意義な研修になったと思います。



(株)能作にて

商業部会 視察研修/新潟県

さる10月25日～26日に商業部会では新潟県への視察研修を実施しました。

1日目は燕三条地場産センター、藤次郎オープンファクトリー、弥彦神社、宝山酒造を視察しました。燕三条地場産センターは、昭和61年設立の財団法人新潟県県央地域地場産業振興センターを前身とし、24時間トイレや観光・道路情報コーナーの追加整備を行うことで平成28年に「道の駅」としてオープンしました。

飲食店、特産品販売コーナー、EVステーションやレンタサイクル用ステーション等、あらゆる機能を備えた施設を視察しました。

2日目は朱鷺メッセ展望台、沼垂テラス商店街、寺泊港を視察しました。かつて「沼垂市場通り」として栄え、近年は地域の高齢化が進んだことでシャッター通りとなりましたが、地域資源を活かしのぎわいを創出、将来を担う人材育成をサポートすることで平成27年には全28店舗がそろい、令和3年には羽ばたく商店街30選に選出されました。その取組について講義を受けて視察を行いました。大変有意義な研修でした。



弥彦神社にて

繊維部会 ジャパンクリエーション2023で、かほく市の繊維産業をPR

11月1日(火)～2日(水)、東京国際フォーラムにて国内最大級の繊維総合見本市「ジャパンクリエーション2023」が開催されました。

かほく市商工会では「繊維のまち 資材の宝庫かほく」を全国にPRする機会として、平成18年から出店を続けております。かほく市商工会は4小間(2m×12m)のスペースに原糸卸からゴム入り細巾織物等の製品製造販売企業6社が自社PRやアパレル関係などの商談に臨み、販路拡大を目指しました。

今回の出展企業は、

(株)気谷、山越(株)、(株)タロダ、
(株)中村編織工業、(株)二口製紐、
(有)マルマツ繊維



ジャパンクリエーション会場

かほく創業塾2022を開催しました

かほく創業塾を11月4日(金)から毎週金曜日に5回シリーズで開催し17名の方が受講された。

講師には、(株)迅技術経営の高稲俊輔税理士・中小企業診断士、小松 巧特定社会保険労務士、日本政策金融公庫金沢支店国民生活事業の上野 洋融資第2課長、かほく市産業建設部産業振興課の村西 研郎主査をお招きして、事業を軌道に乗せるための経営の知識(経営一般・財務・人材育成・販路開拓等)と具体的な計画作成のプロセスについて説明いただきました。

受講者からは、「創業について具体的に計画を立てる必要性が分かりました。」「経営者としてのマインドから、マーケティング、お金のことまで幅広く学ばせていただけて本当にありがたかったです。」「他の起業を目指している方々とお話をさせていただく機会はなかなかないので、自分のモチベーション向上にも繋がりました。」との感想をいただきました。



石川県 商工会大会表彰

去る11月1日、金沢流通会館「大ホール」において第62回石川県商工会大会が開催されました。席上、優良従業員表彰をはじめ各種表彰式が行われ、かほく市商工会では、次の皆様が表彰を受けられました。

◎石川県知事表彰

(敬称略・順不同)

●商工会功労者(優良職員)

今西 真(主任経営指導員)

◎石川県商工会連合会長表彰

西 千鶴子(部長)

●地域貢献企業

(株)杉本自動車サービス(川嶋満彦)

(有)ビット(浦奏介)

(株)今一電気商会(今城清一)

●会員事業所優良従業員

吉村 弘明(河北郡衛生(株))

秋田 隆子(有沢田電興社)

谷多 豊孝(ハタ工業(株))

定免 恵美(精研工業(株))

●商工貯蓄共済事業優秀商工会

第4位 かほく市商工会

◎石川県商工会青年部連合会長表彰

●青年部優良役員

川端 達也(部長)

越野 翼(前副部長)

商工会全国大会

去る11月10日、東京・NHKホールにおいて第62回商工会全国大会が開催されました。かほく市商工会では、次の皆様表彰を受けられました。

◎全国商工会連合会長表彰

(敬称略・順不同)

●役員功労者

中村 修一(理事)

●女性部功労者

西 千鶴子

●優良常勤職員

丹羽 由香

(石川県商工会女性部連合会副会長)



表彰される 西 千鶴子さん



にゃんたろう

にゃんたろうカード 加盟店募集中!

- かほく市民の7割の方が持っています。
- かほく市内加盟店で使用できて便利!大人気です。
- 大手カード機能より便利で個店費用も低価格!

令和5年5月より非接触型ポイントカードを導入予定!ますます便利に!!

お申込・お問い合わせは、かほく市商業協同組合まで TEL 076-282-5661

かほく四季まつり あったか雑炊・鍋まつり

冬の味くらべ

■キャンペーン期間

令和5年1月21日(土)~2月19日(日)まで

- 【登録飲食店】 ①道の駅高松 上り線 ②道の駅高松 下り線 ③いろり割烹 芳「河北亭」 ④たかまつまちかど交流館
 ⑤居酒屋 北本 ⑥海里 ⑦長兵衛 ⑧ごっつお庵 土田屋 ⑨串なごみや 高松店 ⑩中華料理 酔神
 ⑪居酒屋 鶴香 ⑫おでん・串あげ 平蔵 ⑬焼肉 雅樹丸 ⑭とんがらし ⑮魚料理・民宿 やまじゅう
 ⑯民宿 さくのや ⑰食楽庵 かほくさんまる ⑱うなぎ料理 川義 ⑲串なごみや 宇野気店
 ⑳シェ・ミノール ㉑心なごみ料理 かたばみ ㉒森食堂

■まつり期間中、登録飲食店でメニューの雑炊・鍋を食べると抽選券がもらえます。抽選券に、お名前・住所・電話番号をご記入のうえ、お店や商工会に備付けの応募箱に2月21日(火)までに投函ください。後日抽選で登録飲食店共通お食事券、かほく市共通商品券が当たります。

あったか雑炊・鍋を食べて、
お食事券を
GETしよう!

- 満ぶく賞 登録飲食店共通お食事券 10,000円……20本
 味わい賞 登録飲食店共通お食事券 3,000円…100本
 特別賞 かほく市共通商品券 50,000円分……3本

抽選日(予定) 令和5年3月上旬 当選者には直接賞品をお送りいたします。



冬の味くらべ
Wチャンス!!

さらに 雑炊・鍋を食べて、ラリーカードに、にゃんたろうスタンプを4つ集めて、かほく市共通商品券1,000円分をもらおう!!(ラリーカードは各店舗でもらえます。)

ラリーカードは、令和5年2月24日(金)までに、かほく市産業振興課、高松サービスセンター、七塚サービスセンターで交換いたします。カードの詳細は、「店めぐりラリーポイントカード」をご覧ください。
※お1人様1回のみ交換します。

かほく市まつり実行委員会(かほく市商工会 かほく市高松742-1 ☎076-282-5661・かほく市産業振興課 かほく市宇野気二81 ☎076-283-7105)